



2月5日 普通科2年理系クラス

SSH先端科学講座（理科） 「化学のこれまで、これから」

2月5日(木)の4, 5限、普通科2年理系を対象としたSSH先端科学講座が行われました。大阪府立大学高大連携機関教授 岡勝仁先生をお招きし、「化学のこれまで、これから」という演題で、講義していただきました。今回の講座は、大学の研究者から化学を中心とした科学技術の発展について学ぶことにより、科学に対する興味・関心を高め、今までの理科の授業で学習した知識を深化させるとともに、自己学習力の育成も目的としています。



講義は、最初に学問(科学)と芸術の違いをもとに、『芸術』は、他の人が創り出すことができない個人に起因するもの。『学問(科学)』は努力をすることで誰もが身につけることができる人類共通のもの。」という学問(科学)に対する意識の持ち方について講義をはじめられました。哲学、歴史、古典さまざまな視点から「化学」について、ポイントを押さえながら教えていただきました。今、高校で学習している化学の知識で地球温暖化問題の解決につながる考え方ができることも示唆していただきました。また、中国の化学の教科書の周期表をもとに、中国語では元素名を一字の漢字で的確に表していることなどさまざまな話もしていただきました。



これからの学習で重要なこととして、「当たり前だと思っている現象について、真理を突き詰めて考えること」や「ときどき違う視点から考察すること」、「実験・観察で実証することの重要性」を教えていただきました。また、理系であっても文系の学問を勉強することの大切さ、本を読み、文章を書くことで自分の頭で筋道を立ててどうすればよいか考えることができることにつながるなど、勉強することの意味を伝えていただきました。

大学時代のプライベートのエピソードもまじえながら、楽しく講義でした。しかし、楽しいだけでなく、岡先生の話では「大学で何のために勉強するのか」や大学での研究生生活の大変さと素晴らしさを語りかけてくれました。生徒達に、勉強に励み、大学、研究機関での活躍を期待されていました。岡先生から熱心に語りかけていただき、生徒達は最後まで集中して講義を受講し、刺激を受けたようです。

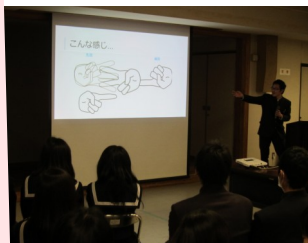
参加生徒の感想

「化学と芸術の違いや化学の歴史など今まで知らなかったこともたくさんあり、とても面白い講座だった。私も大学で何か研究したくなった。」「『見方を変えれば本質が見えてくる』ということは化学だけでなく全てのことに当てはまると感じた。」「学問は何度もすれば分かるようになるという話に勇気もらった。がんばろうと思う。」

2月17日

平成26年度 向陽スーパーサイエンスハイスクール成果発表会

2月17日(火) 向陽を会場として平成26年度向陽高等学校・中学校SSH成果発表会が開催されました。環境科学科2年生「SS探究科学Ⅱ」の1年間かけて研究してきた課題研究の発表を行いました。



口頭発表は視聴覚室と記念館をそれぞれ分科会①、分科会②としてそれぞれ5テーマずつ発表しました。

発表の要約を英語発表をするなど、今までの研究をまとめ堂々と発表していました。

ポスター発表は1棟2階、3階の教室を利用し、21テーマが発表しました。また、ポスター発表では、工夫を凝らし相手に伝えることを意識し、積極的に発表していました。

生徒発表の公開終了後、事業報告を行いました。今回、県外の参加者も含め、外部から28名の方に参加していただきました。参加者の方からは、閉会後に「研究内容の高度なグループ、英語でプレゼンなど今後グローバルに活躍することが期待されます。」や「自分たちの研究に愛着があり熱心に発表しており好感が持った。」など高い評価のご意見をいただきました。

閉会行事後の運営指導委員会では、各委員の先生方から来年度の取組や次期のSSHの方針について様々な意見をいただきました。



(1)開会行事

(2) SS探究科学Ⅱ 課題研究発表 口頭発表

発表：環境科学科2年生 対象：普通科理系2年生

分科会① 物理、化学、環境、数学

分科会② 生物、化学、数学

(3)「SS探究科学Ⅱ」課題研究発表 ポスター発表

SSH関係 今後の予定

3月26、27日 日本農芸化学会 ポスター発表（岡山大学）

【生物ゼミ、理学部】